



安心とつるおの町三の手をめぐって

防災 まちづくり瓦版

発行の寺言問を防災のまちにする会

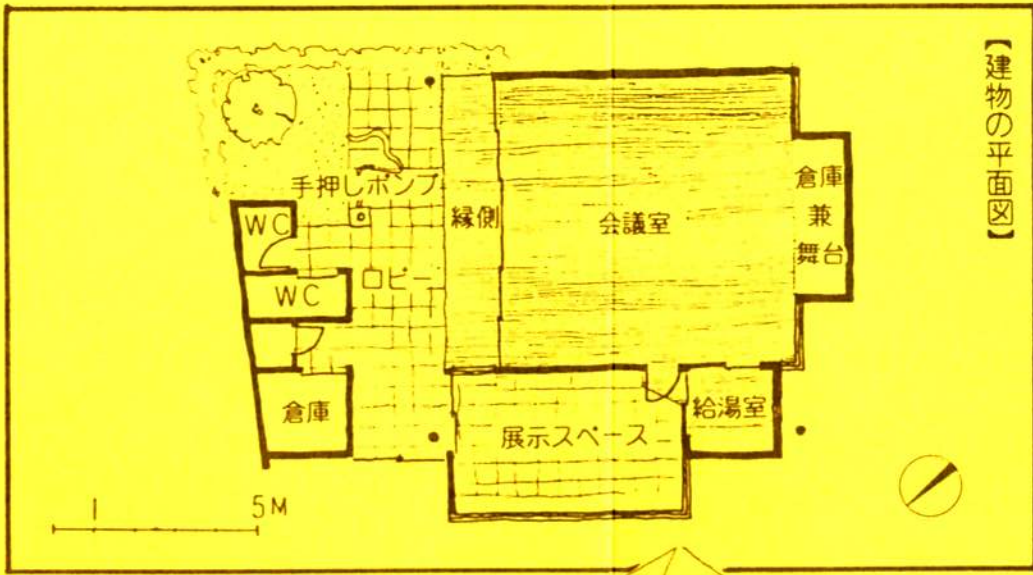
平成7年1月1日

高田製薬 跡地だいま 検討中⑦

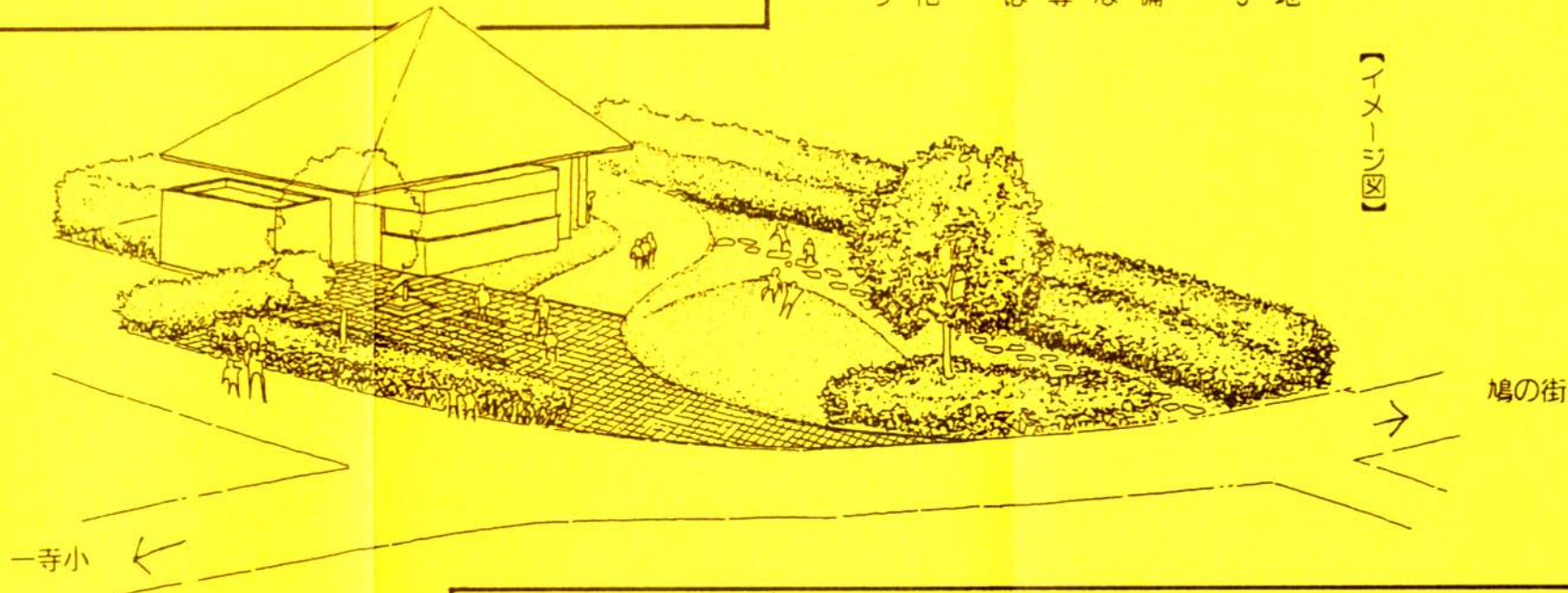
平成3年末からはじめた高田製薬跡地利用についての検討も、今年で足掛け5年になります。

説明会や瓦版33号の呼びかけで、整備構想についてはみなさんからいろいろなご意見をいただきました。「路地尊の雨水を積極的に利用したい」「築山は影でいたずらしないような高さに」「そのときのご意見を参考に構想を具体化し、整備イメージが図のようになっています」。

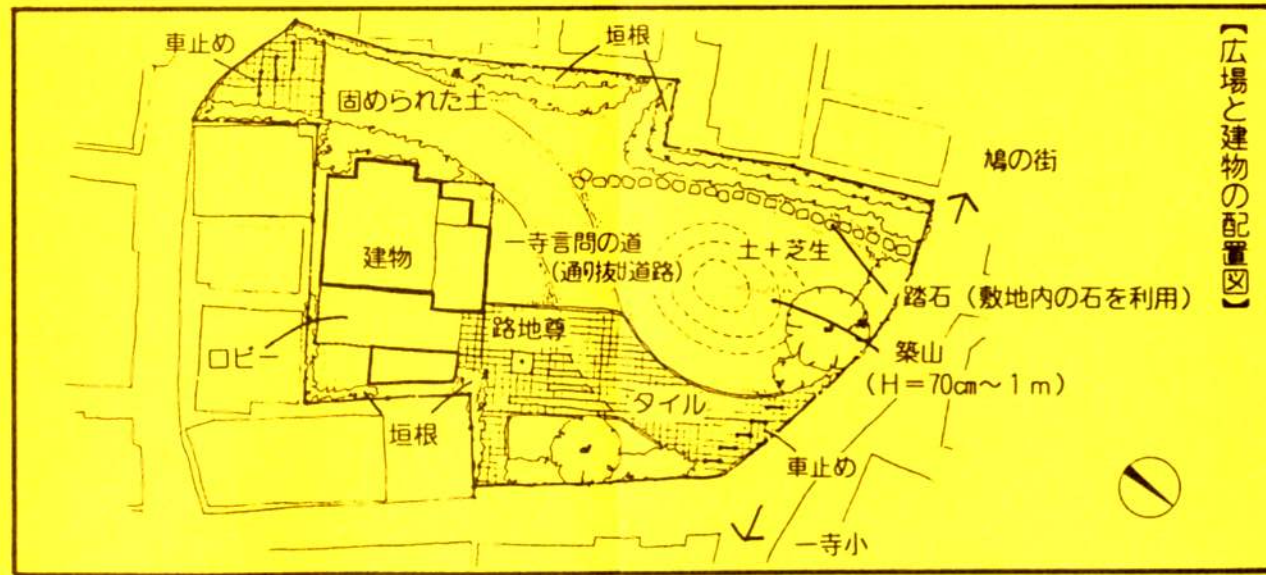
【建物の平面図】



【イメージ図】



【広場と建物の配置図】



詳細部についてご質問等がありましたら、一言会事務局までお問い合わせください。なお、1月25日に寺島集会所にて、近隣の方を対象に説明会を開く予定です。

【一言会事務局】

〒113 010

墨田区西葛西一丁目三三番二〇

墨田区西葛西一丁目三三番二〇

TEL 五六〇八一六二六一

共栄倉庫(アサヒビール寺島配送センター)

「まちづくりに協力を継続」

仮アサヒビール寺島配送センターが、建設の途中で敷地、建物ともに共栄倉庫に売却されました。共栄倉庫は関西を本拠地とする倉庫の専門業者で、繊維を主体に扱っているそうです。

9月9日に開かれた事務局会議にはアサヒビールと共栄倉庫が出席し、アサヒビール寺島配送センター売却の経緯の説明とともに、共栄倉庫からは「この建物について、アサヒビールが一言会と約束したことはそのまま引き継ぎ、さらに今後は一寺言問地区のまちづくりに協力していく」意向であることが伝えられました。



共栄倉庫の竣工祝賀会に一言会から会長が参加しました。



隈田川沿いの敷地についても 覚書で将来の協力を約束

仮アサヒビール寺島配送センターの建設計画は、当初の墨堤通りから隈田川までの計画から墨堤通り沿いの半分の計画に縮小されたため、墨堤通りから隈田川に抜ける道など、当初計画していたいくつかの事項の実現が見送られ、課題として残されています。

一言会とアサヒビールとは、これらの課題の実現の可否について協議を重ねてきましたが、建設工事が進められるにあたり、アサヒビールから「隈田川沿いの敷地を開発する際には、一言会と十分な協議を行う」という主旨の覚書が提案されました。一言会では覚書の是非その内容についての検討を重ねた結果、11月25日に開かれた理事会でこの覚書を交わすことが合意され、将来改めて協議することを約束しました。

一言会

タウンミーティングに

参加

一言会の則武会長は、10月18日(火)に都庁で行われた鈴木都知事との懇談会(タウンミーティング)に出席しました。96回目をむかえる今回は、「災害に強い東京をめざして」というテーマで、都内37の防災まちづくり団体が参加し、知事と約2時間にわたり意見交換を行いました。

私がまちづくりスタッフです

3033

墨田区まちづくり事業推進部 地域整備課

植村 聡 さん (一言会 事務局)



植村さんが「一寺言問防災まちづくり」の担当になって5年。住民と行政が四つに組んでまちづくりを実現してきた。現在、一言会の活動は成熟期を迎えつつある。事務局として植村さんの存在は重要になっており、つきつきと上司が変わってゆくなか、住民の手足になり、一言会のメンバーに鍛えられて、目立たない部分でしっかりとまちづくりを支えている。

昭和39年、千葉県生まれ。童顔なため若く見えるが、三十代の仲間入りをした。四街道の自然が残る恵まれた環境に育ったため、性格もおおらか。一寺言問の路地をすっかり頭にインプットして、他区からの見学者の応対につとめている。

趣味は球技。休日はテニス・サッカーに明け暮れる。サッカー歴15年で役所と四街道市の社会人部門のクラブに所属している。

身も細るような恋をして、高田製薬跡地が完成した晩には、その広場で結婚の披露をしたいと考えている。(純)

すみだファッション推進協議会

一言会に、セアリング

墨田区で、「ファッションタウン構想をすすめる「すみだファッションタウン推進協議会」の皆さんが、一言会理事さんに9月21日(水)、まちづくりに関するヒアリングを行いました。

*「ファッションタウン構想」とは
ファッション産都市機能(ファッション産地)とファッション生活文化都市機能(ファッション消費地)の2つの機能が融合した活力ある美しいまちをめざす構想です。

こんな防災訓練、やっています

「秋の防災週間」一寺言問地区の各町会では防災訓練が行われました。各町会の積極的な活動内容を紹介します。

東向島宮元町会	堤通一丁目町会	向島五丁目西町会	向島五丁目東町会	東向島一丁目南町会	東向島一丁目中町会
9月4日(日)	10月16日(日)	10月30日(日)	11月13日(日)	11月13日(日)	11月13日(日)
向島百花園児童遊園	さくら児童遊園	弘福寺裏	さくらんぼ児童遊園	一寺小学校	向島消防署
「リアカー4台出動」老人会の方の協力で、足の不自由な方やけがをした方を、リアカーで避難場所の救護まで運ぶ練習をしました。	「三角バケツのプロ？」せがくのバケツの水も火にかからなければいけません。そこで三角バケツの消火訓練では火の絵を描いたパネルへの的中率を競い合いました。	火を使うことの多いお母さんたちが、消火器をもって果敢に火を消しました。	「物が仏隠れて! 火を消して!」地震発生を想定した有線放送が10時に流れて、訓練開始。区民消防隊の放水実演や、消火器の点検・詰め替えをしました。	「火事はやっぱり怖い」火事はださなことが大切だけれど、だれもが初期消火できるようにしておけば心強い。各自が消火器を実際に使って火を消しました。今年は例年に比べ参加者が多かったそう。	「消防署で勉強会」向島消防署へ、勉強をしに行きました。地階では人工呼吸等の救急訓練を見学し、3階では消火訓練のビデオを見ました。

いちでらことい
一寺言問/防災まちづくり瓦版
第35号 平成7年1月1日発行
編集/一寺言問を防災のまちにする会・編集局
高原純子・若木菊枝・植竹モト
阿部洋一・明間 藤・中村淑子
編集協力/マヌ都市建築研究所
発行/一寺言問を防災のまちにする会・事務局
墨田区まちづくり事業推進部地域整備課内
〒130 墨田区吾妻橋1-23-20 Tel.(5608)6261

有季園の収穫祭



自慢の作物 展示パネル



第四回 向島有季園収穫祭

十一月五日(土)に向島有季園(向五東)で、第四回目の「収穫祭」が開かれました。

「みんなぞろぞろ」

園内には、利用者の皆さんがこの一年間丹精をこめた自慢の「作物の写真パネル」が飾られ、「ワーこんなのもできるのね」「おいしそー」などと、見物の方々の歓声も聞かれました。

おかしかったのは、有季園にこの春現れた青大将(へび)の写真で、みんなで驚いたり、出現の謎解きに首をひねったりしました。

セレモニーの中では、利用者の牧野さんから、あの猛暑の中での「手入れの苦労話」なども披露されましたが、驚いたのは路地尊3号基(貯水量9t)の威力で、一度も水不足にならなかったとのことでした。

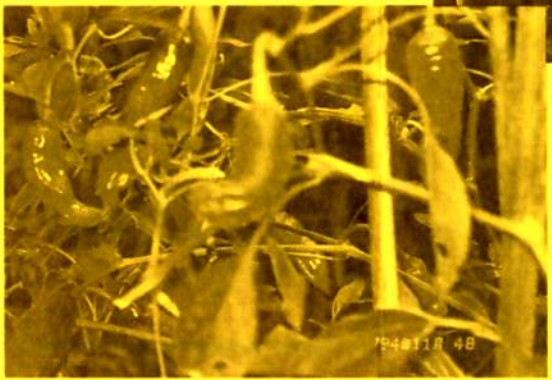


ワーぼく おもちつきの ねめじり



「いろいろ迷って作りました」と体験談を語る牧野さん

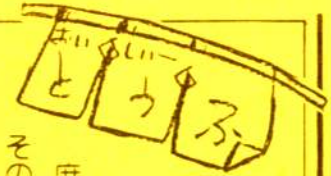
真っ赤に実ったとうがらし



ハッパン おいしい



一寺言問のとうふ屋探訪記



庶民に親しまれてきたお豆腐屋さんが東京の街から消えてゆきつつあります。その中、一寺言問には七軒のお豆腐屋さんが健在です。今回の互版では、手作りの豆腐の工程や、お豆腐屋さんの苦労話などを紹介します。7軒のお豆腐屋さんには、お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。

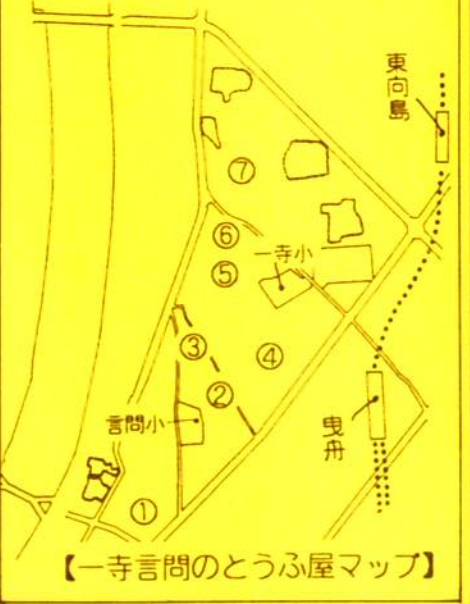
① 齊藤とうふ店

「八年前に主人を亡して、店をたたむことを考えましたが、近所の人の励みでがんばって」と決まりました。女手



⑤ 三嶋屋豆腐店

「龍戸まで売りに行くが、今年の夏はお豆腐が大人気だったよ」。三嶋屋で



【一寺言問のとうふ屋マップ】

まちかど 瓦版 ニュース



①ガールスカウト 159団は、15歳
地元のガールスカウト 159団は、15周年を記念して、11月20日にお祝いの式典を開きました。



③GOGOこととい'94
10月30日(日)言問小校庭で“GOGOこととい'94”が開かれました。町会
対抗の綱引き大会や模擬店で、お母さんと子どもたちが楽しい一日を過ごしました。



④長命寺で餅つき
11月4日(日)向五西町会では、長命寺境内で、「お餅つき大会」を開催。お父さん方が大はりきりで参加し、80名あまりの良い子に《パパさんパワー》を見せました。



②東京都建築士事務所協会
墨田支部設立25周年
墨田区不燃化促進設計事務所協会設立
10周年の記念事業が行われました。



⑤カリンの実 続報
前号瓦版で紹介した会古路地のカリンの実も、カリン酒にしたくなるぐらいに大きくなりました。



①水に浸して柔らかくした大豆をすりつぶします(これが、ゴ(豆汁))
豆汁は火にかけられます



②豆汁を煮て絞ったものが豆乳で、絞りかすはおからです
豆乳に、にがりを入れて固まらせます



③木綿を敷いた型に入れ、重しをのせて水分をぎると歯ごたえのある「木綿豆」が出来ます



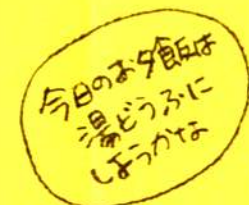
④汁をたっぷり含んだきめ細かい「絹ごし豆腐」もおいしそうにできあがりませす

取材店 ふじみや豆腐店

戦争で焼け出され、今のお店を開店したのは昭和23年から。96才のお母さんはお元気で、2代目ご主人と妹さんと3人で安川豆腐店を守っています。

③小林豆腐店
鳩の街通りの真ん中にある二代目の豆腐屋さん。絹ごし豆腐のファンがいて、曳舟の方からも買いにくるそうです。

④豊田屋
一寺小の子どもたちは給食に豊田屋さんのお豆腐を食べています。——お店の前を通ると、お三味線の音がする時があるんだけど、どなたの趣味だろうか？



夕方のお豆腐屋さん



「地蔵坂に店を出した昭和33年ごろは苦しくて築地まで売りに行きました」。ご夫婦揃って山形出身。山形弁がお店の雰囲気をとて和やかにします。おぼろ豆腐、おからの煮付け、豆腐ハンバーグといろいろ工夫していらっしゃいます。

⑥ふじみや豆腐店
五代続いた豆腐屋さん。ご主人が病気をされたため、現在は奥さんが手伝って二人で、最近珍しくなったやっこ車(写真)を引いて歩いています。向島の花柳界方面では、「夫婦ひき売り」と呼ばれているそうです。

ん豆腐は濃いと評判。言問小の給食のお豆腐は三嶋屋さんのものです。

